

### 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「山の南信州へ」伊那路・木曽路広域観光宣伝事業
事業主体 (連絡先)	伊那路・木曽路広域観光連携会議 (代表者：伊那路観光連盟会長杉本幸治) 会計責任者名(注)：駒ヶ根市商工観光課観光係 黒河内 英樹
事業区分	6 (1) 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,212,322 円 (うち支援金：2,554,000 円)

#### 事業内容

- ①伊那路・木曽路 フォトブック作成  
フォトブック印刷・配布 70,000 部
- ②山岳高原に特化した誘客宣伝活動  
アウトドアイベント「Holiday2016」への出展
- ③JR、NEXCO中日本との連携による観光誘客  
刈谷パーキングエリアにパンフレット配置
- ④伊那路・木曽路広域観光連携懇談会  
広域観光連携に関する講演会・意見交換会



【Holiday2016 (横浜赤レンガ)】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①伊那路・木曽路のビュースポットを「フォトブック」として印象的に紹介する冊子を作成することで、視覚的に「山の南信州」としてのイメージを印象づけ、誘客を促すためのPRが図れた。
- ②アウトドアに関心のある方にターゲットを絞り込み、統一的なテーマによるイベント出展をしたことで、効果的なPRが図れた。
- ③フォトブックを刈谷PAに設置し、中京圏からの誘客促進を図ることができた。
- ④行政関係者、観光事業者、宿泊事業者、市町村観光協会 など観光に携わる幅広い関係者が一同に会し、広域観光圏としての戦略や将来を見据えた事業展開を探る絶好の機会となった。

#### 【目標・ねらい】

- ①伊那路・木曽路のイメージ強く印象づけるための情報発信
- ②統一的テーマによる効果的な観光PR
- ③民間事業者との協働による、中京圏における観光誘客促進
- ④広域観光圏としての戦略や将来を見据えた事業展開を探る

※自己評価 【 A 】

#### 【理由】

広域観光における連携体制が強化されたことで、新たな誘客促進活動へのステップアップが図られた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

これまでの誘客促進活動や様々な事業展開の取り組みを活かし、更に広域観光圏としての魅力を最大限に引き出すための事業推進を図るため、平成29年度も引き続き“山岳高原”をテーマに掲げ、信州DCの絶好の機会に合わせ、観光資源のブラッシュアップ、エリア全域での魅力創出とイメージアップを図るため、新たな誘客宣伝活動を展開する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある